

# 独自性レポートの使い方

Classroomで学生の提出物の独自性を確認する機能

## <独自性レポートについて>

独自性とは、他にはない固有のもの。\*weblio辞書より

学生の課題提出物の文章とインターネット上でGoogleが検索して検出される文章で一致するものがあるかを確認できる機能です。詳細は以下のGoogleのヘルプ記事からの抜粋をご確認ください。

抜粋元URL:

<https://support.google.com/edu/classroom/answer/9335816?hl=ja&authuser=0>

教師と生徒は、独自性レポートを使用して提出物の独自性を確認することができます。独自性レポートを作成すると、生徒の Google ドキュメント ファイルとインターネット上のウェブページおよび書籍とが比較され、引用表記のないテキストが、検出された引用元にリンクされて報告されます。

- 独自性レポートは 45 日間閲覧できます。この期間後は、採点ツール内でレポートを新たに作成します。
- 教師が課題の独自性レポートを有効にすると、生徒は課題を提出する前に 3 回までレポートを作成できます。生徒が作成したレポートを教師が見ることはできません。生徒は最後のレポートを作成した後も、提出するまで課題の作業を続けることができます。

## ＜独自性レポートをオンにした課題の作成＞

独自性レポートは課題でオンにしなければ動作しません。  
独自性レポートをオンにした課題を作成する方法を紹介します。



- ① **+ 作成** をクリック
- ② **自 課題** をクリック



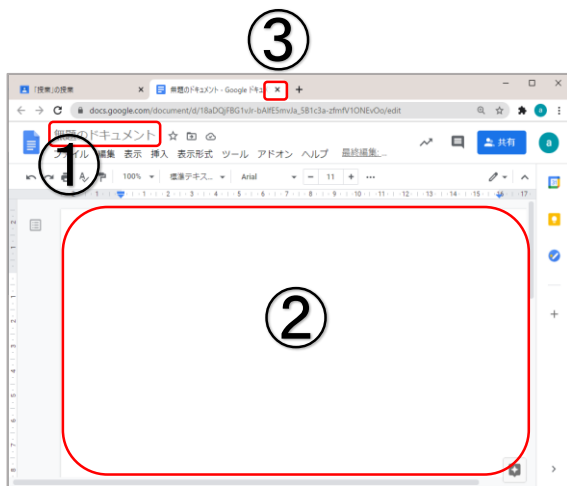
- ①「タイトル」を記入
- ②「課題の詳細」を記入  
\*「課題の詳細」は必須ではありません。



- ① **+ 作成** をクリック
- ② **ドキュメント** をクリック

\*Googleドキュメントでしかこの機能は利用できません。  
Word・PDFでは動作しませんのでご了承ください。

# 独自性レポートの使い方 (Classroom)



- ①ファイル名です。必要があれば変更してください(必須ではありません)
- ②ドキュメント内に記載する事項があれば記載してください(必須ではありません)
- ③必要な作業が終われば ✖ でタブを消してください



- ① **生徒はファイルを開覧可能** をクリック
- ② **各生徒にコピーを作成** をクリック
- ③  **盗用 (独自性) を確認する** にチェックをつける



- 課題を作成** をクリック

以上で作成は完了です。  
学生には提出用のGoogleドキュメントファイルがClassroomの課題上で表示されます。  
それに記入して提出するように案内してください。

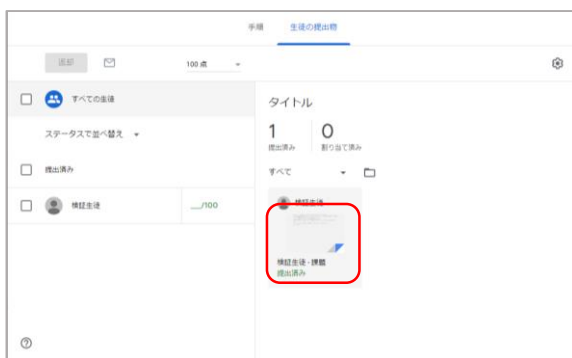
## <独自性レポートの確認>

独自性レポートをオンにした課題で学生が提出した文章 (Googleドキュメント) の独自性を確認する方法を紹介します。以下注意点です。

- ・Googleドキュメントに書き込まれた文章でなければ、独自性レポート機能は利用できません。
- ・Googleが検索して検出する範囲であり、インターネット上の全ての文章ではありません。
- \*Googleからの返答としては論文サイトでサイト内にアップされた論文は検出できないそうです。ただし、その論文を自サイトなどにアップして公開している場合は検出されることが多いそうです。
- ・他の学生の提出物と文章が同一かは検出しません。

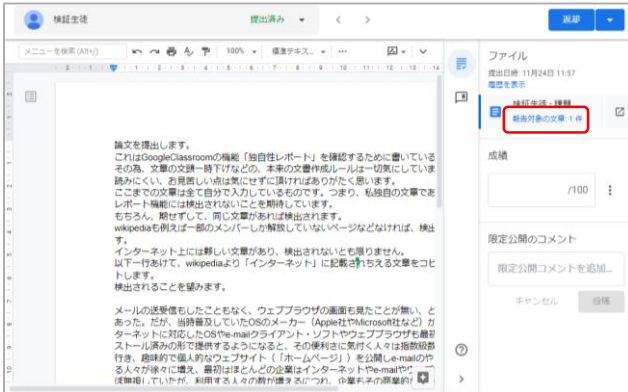


**課題を表示** をクリック



**確認したい学生の**  
**提出物** をクリック

# 独自性レポートの使い方 (Classroom)



**報告対象の文章: 1件** をクリック  
表示が違う場合、下記を  
参照してください。  
クリック後の操作は次ページ  
移行を参照してください。

**盗用の有無を確認して  
います...**

この表示の場合、Web上に同文章がないか確認中です。  
確認が終わるまでお待ちください。

**報告対象の文章なし**

この表示の場合、Googleドキュメント内に同文章はWeb上に  
検出されなかったということです。  
クリックすると下記のように表示されますが、検出された際  
のような情報は表示しません。



# 独自性レポートの使い方 (Classroom)

独自性レポートでは、英語のドキュメントの場合に最良の結果が得られます

論文を提出します。  
これはGoogle Classroomの機能「独自性レポート」を確認するために書いている文章です。その為、文章の文頭一時下げなどの、本来の文章スタイルは一切気にしていません。読みにくい、お見苦しい点は気にせずにご覧下さい。ご自身の文章は全て自分で入力しているものと見做させていただきます。もし、私独自の文章であり、独自性レポート機能には検出されたい文章がある場合は、ご自身の文章を修正し、再提出をお願いします。

インターネットでは、「インターネット・プロトコル・スイート」(あるいは「TCP/IPプロトコル・スイート」)と呼ばれる、一種の標準化された通信プロトコルによって、世界中のネットワークとネットワークが実現して「ネットワークのネットワーク」が実現して明確に提供されていることによって、あるネットワークや自分独自の方式のネットワークや他のネットワークとの相違部分を明確にでき、合わせるための機器を用意し、間に挟みさえすれば接続できることになった。

独自性レポートの有効期限: 2027/01/08

カウント %

報告対象の文章: 1件

引用した文章はありません

ウェブで一致 (1) >

wikiwand.com (1) >

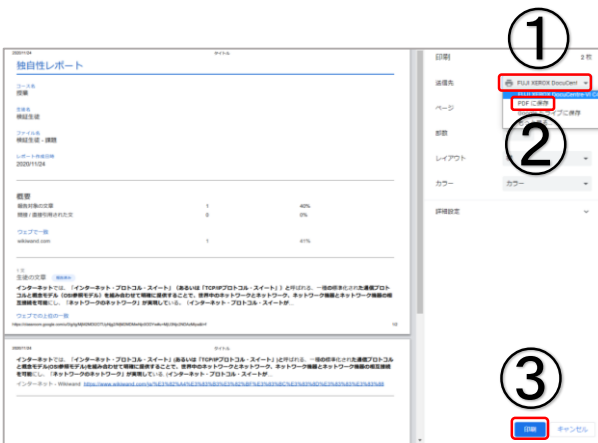
- ①この文章は背景が白です。Web上から同文章が検出されていないことを表します。
- ②この文章は背景が灰色です。Web上から同文章が検出されたことを表します。
- ③独自性レポートの表示を検出されたサイトの数に変更します。
- ④独自性レポートの表示を検出されたのが文章の何%かに変更します。
- ⑤オンにすると検出された内容が引用だと参考文献を記載しているとGoogleが判断したかを表示します。  
\*5%が検出され、5%が引用参考文献を記載していれば、検出された文章の全ての引用が記載されているということをGoogleの機能として判断しているそうです。
- ⑥どこのサイトの文章と同様かサイトとURLが表示されます。

# 独自性レポートの使い方 (Classroom)

独自性レポートの結果を保存します。  
保存が不要な場合は、この操作は不要です。



をクリック



①

をクリック(よく使うプリンタの型番が表示されることが多いです)

②

PDFに保存 をクリック

③

保存 をクリック



①保存先を選択

②ファイル名を記入


③

保存(S) をクリック



## <独自性レポートを閉じる>



 をクリック

\*再確認する際は、独自性レポート作成から45日間であれば作成方法と同操作で、確認できます。

独自性レポートの日本語版は2020/11/20頃に対応されたものであり、Google側がどう判断して検出しているのか、どういう文章は検出しにくいのか、引用とは何をさしているのかなど、不明点が多くあります。わかる範囲ではありますが、まとめさせていただきました。皆様の一助となれば幸いです。